

# 向島百花園が創設200周年!!

江戸時代の文化元年(1804)に創られた「向島百花園」が、今年、創設200周年を迎え、地蔵坂通りの「大縁日」(右記)など、地元の方を中心として、様々なお祝いのイベントが実施されました。

例年開催される、「大輪朝顔展示会」「虫聞きの会」「お月見の会」等も、今年は記念祝賀行事として開催され、地元の宮元町会でも、恒例の納涼大会に「百花園音頭」を作詞、披露して、みんなで踊りました。

特別なイベントとしては、かつて森鷗外も寺島村で開かれた会に顔を出したことがある「百物語の夕べ」(納涼落語会)が開かれ



ました。また、向島が演劇とも縁の深い地であることから、庭園そのものを背景とした演劇も公演されました。

すみだ歴史文化資料館では、8月中、百花園の資料を展示する企画展が開催され、すみだ学習ガーデンでは、園内の句碑について学ぶ講座も開かれました。

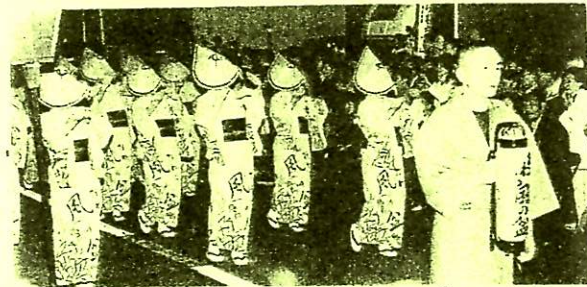
9月4日には、午前中に戦災で全焼した百花園を復興した元担当職員から色々なエピソードを聞き、午後からは「向島百花園を活かした緑のまちづくり」をテーマにしたシンポジウムが開かれました。お昼には、実行委員長を務めた黒田杏子さん(俳人)が、永六輔の土曜ワイドに生中継でインタビューを受けました。

# 賑わら向島の『通り』

今年、一言地域内の『通り』が、様々なイベントで賑わいました。まず、『地蔵坂通り商店街』では、九月四日と五日、地元向島百縁日が開催されました。両日とも、お昼から通りは歩行者天国となり、ベーゴマや草笛の昔の遊びコーナーや大道芸人のパフォーマンス、墨田川高校の吹奏楽部やよしつね太鼓の演奏、下町かっぱれの演技などを楽しみました。特に四日の夕方から行われた記念カラオケ大会は、折からの豪雨の中となりましたが、熱唱とファン熱気に包まれました。もちろん商店街らしく、お買物スタンプラリーも一日から五日まで行われ、景品として用意された沢山のお花は、またたく間にお客様さんに引き取られていきま



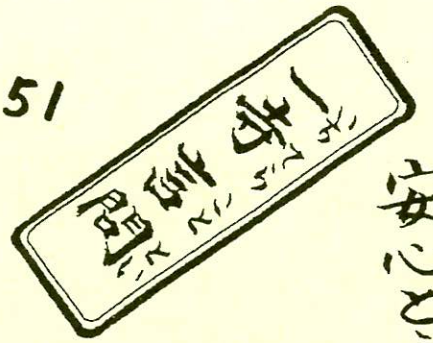
ました。十月二十三日のお昼から、『鳩の街商店街』で「ローカルキッチン」と名付けられたイベントとお店づくりの提案」の展示等が行われました。「ローカルキッチン」は「食」とおして街の交流と活性化を目指すもの、と「はとほつと」を主会場に商店街の各所に模擬店が開かれ、お店とあいまってたくさんのお客様に楽しんでいただきました。「お店づくりの提案」は、空き家が増えた商店街を元気づけるためのアイデアを募集し、地元や商店街の皆さんに評価してもらおうというものです。二十二件の色々な楽しい提案が寄せられ、最優秀賞に理科大の後藤さん達が提案した「下町食堂 鳩の味」が選ばれました。



で、花柳界の雰囲気、舞の艶やかな披露、太鼓の音曲、四手、踊り、艶やかな舞、披露、

同日の夕方からは、『見番通り』で「おわら風の盆 in 向島」が開かれました。新内の流れを酌む「おわら節」は、富山県八尾市で三百年以上にわたり語り継がれ、全国的にも知られています。今回、その振り付けを向島の踊りの師匠がアレンジした縁で、向島で舞っていただくことになりました。「鳩の街」と「見番通り」を激励に訪れた山崎区長をはじめ、たくさんの方の御覧の中、向島二丁目睦町会の会館前から長命寺前まで、

No. 51



安心するおのり下町川の手をめぐって

# 防災まちづくり瓦版

発行一寺言問を防災のまちにする会

平成16年12月10日

いちてらことい  
一寺言問/防災まちづくり瓦版  
編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局  
発行/一寺言問を防災のまちにする会  
代表 青木 隆雄  
連絡先/墨田区都市整備担当地域整備課  
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261

## ・おめでとう！一寺小125周年

開校125周年を迎えた一寺小学校では、10月8日の記念式典とともに、パントマイムなどの「コッチクン」を楽しんだり、梅の南高梅を植樹し、みんなでお祝いをしました。



## ・荒川土手でサイクリング

10月11日、向島五東町会の少年部は、葛西臨海公園までのサイクリング会を行いました。約50名の元気な子どもたちが、爽やかな秋風の荒川土手を走りまわりました。



## ・大学生の体験学習

今年も千葉大学北原先生の授業として、一寺言問地区で「まちづくりの提案」講座が開かれました。子どもたちを集めて遊びを指導したり、実験的なお店を開くなど積極的な提案が多く出されました。



十一月二十七日、中小企業センターで「アートと暮らしとまちづくり」をテーマとして「都市計画キャラバン2004向島大会」が開催されました。

この大会は、まちづくりの専門家が集まる「(NPO)日本都市計画家協会」と「向島学会」が協力した「向島Year2004」実行委員会が開催したものです。

「向島Year2004」は、(1)歴史や文化遺産の再発見 (2)新たな地域文化の創造 (3)新規産業の誘発をテーマに、年内に開催された多彩なイベントを連携して、それらの情報をまとめて発信してゆく組織です。

ところで、地震に危険な地域と言われ、木造の建物が多く、混み合っている私たちのまちが、なぜ注目されることになったのでしょうか。

その理由の一つに、このまちには「世間」が残っていると言われます。今流に言えば「コミュニティ」でしょうか。

私たちのまちでは、隣近所が顔見知り、挨拶が交わされるといふことが普通とされています。

## まちづくりの専門家も注目

# 「世間」が息づくまち

しかし、まちづくりの一つの目的であった、建物が燃えにくくなり、道を広げたまちには、このような「世間」が少なく、育ちにくいようです。

今回の大会は、シンポジウム「まちづくりにおけるアトイイベントの連携」(七月二十四日)、大阪が会場でしたが「全国路地サミット」(八月二十八日)、「向島百花園創設二百周年記念シンポジウム」(九月四日)、「ワークショップ「向島のグリーンと暮らしとまちづくり」(九月二十六日)をはじめ、「世間」が息づく向島のまちで行われた様々なイベントが報告されます。さらに、それらがまちの活性化やまちづくりにどのような役割を果たせるかを議論していくこととするものです。

一言会では、発足当時から、もしも震災に襲われた時には、この「世間の力」が最も大切なものとしてきました。

普段から、隣近所の交流すること、が、もしもの時に助け合いの原動力となり、被害を少なくし、復興の基となると考えるからです。

一言会の活動も、来年は二十周年を迎えます。私たちのまちで大切にしてきたことを、まちづくりの専門家が注目してくれたことを喜びたいと思います。

## 昨年引き続き みんなで 「打ち水大作戦」

江戸庶民の生活の知恵だった「打ち水」で都市のヒートアイランド現象を和らげようと「打ち水大作戦2004」が8月10日から25日まで全国各地で行われました。

ここ東向島地区でも、昨年度に引き続き、第一寺島小学校、墨田川高等学校、地藏坂通り商店街を中心とした東向島一丁目と三丁目の町会が、「重点地区」として設定されました。

今年は期間中、時間を決めて打ち水を行い、地区内に設置した約90個の温湿度計等の観測機器と小学校等の屋上からの熱画像により打ち水の効果を科学的に分析しました。

観測の結果、気温は最大で1.8度、平均で0.5度低下し、かつ、気温上昇をおさえる効果があることが判りました。

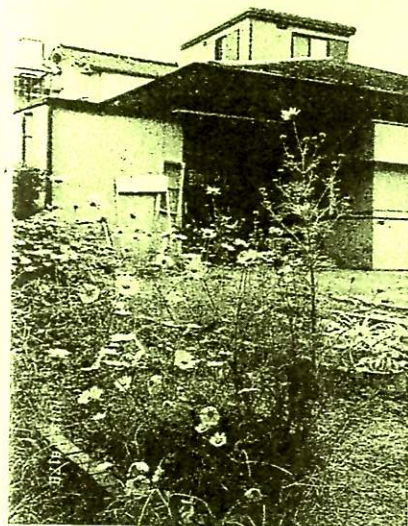
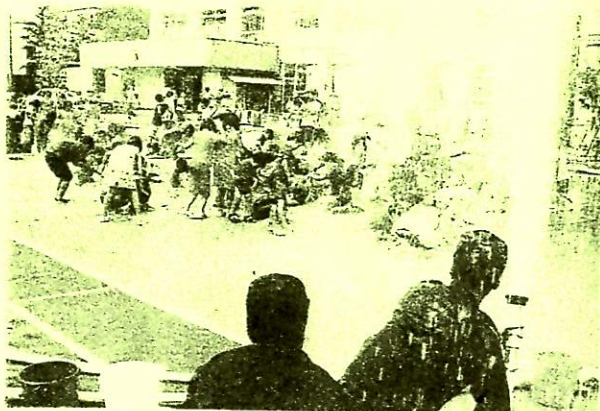
第一寺島小学校は、初日の18日と千秋楽の25日が打ち水のイベント会場になりました。

初日には、子ども達、保護者・地域の方々が一斉に打ち水をしたあと、ヨーヨー風船つり大会が行われました。

また、千秋楽には、区長さんもおいでいただき、みんなで打ち水をしたあと、消防団のご協力をえてドジョウつかみどり大会が行われました。

涼しさを実感した打ち水のイベントとなりました。

第一寺島小学校校長 釣船雅子



【利用期間】平成十七年三月一日～平成十九年一月三十一日  
【応募条件】一寺言問地区(堤通一丁目、東向島一・三丁目、向島五丁目)にお住まいの方  
【申し込み先】〒1331-0032 墨田区東向島一-八の五 一言会会長 青木 隆雄  
【締め切り】平成十七年一月三十一日(必着)  
\*利用者は、次の事項を守ってください。  
☆二年間、本人が責任を持って利用する



応募券

お花を育ててみませんか

一言集会所(東向島一の二十) 前の花壇を、あなたの花壇にお貸しします。